

# 経済産業省における これまでの取組の成果と今後の課題

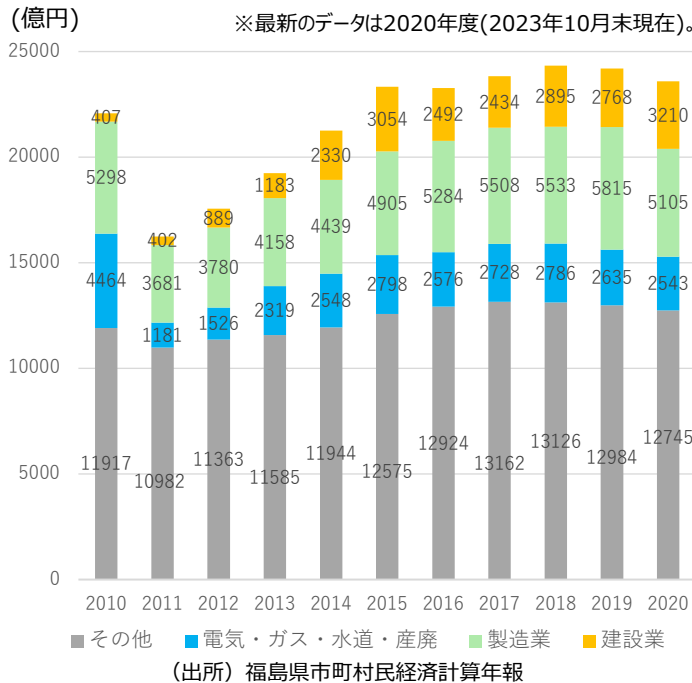
経済産業省・福島復興推進グループ

令和5年11月24日

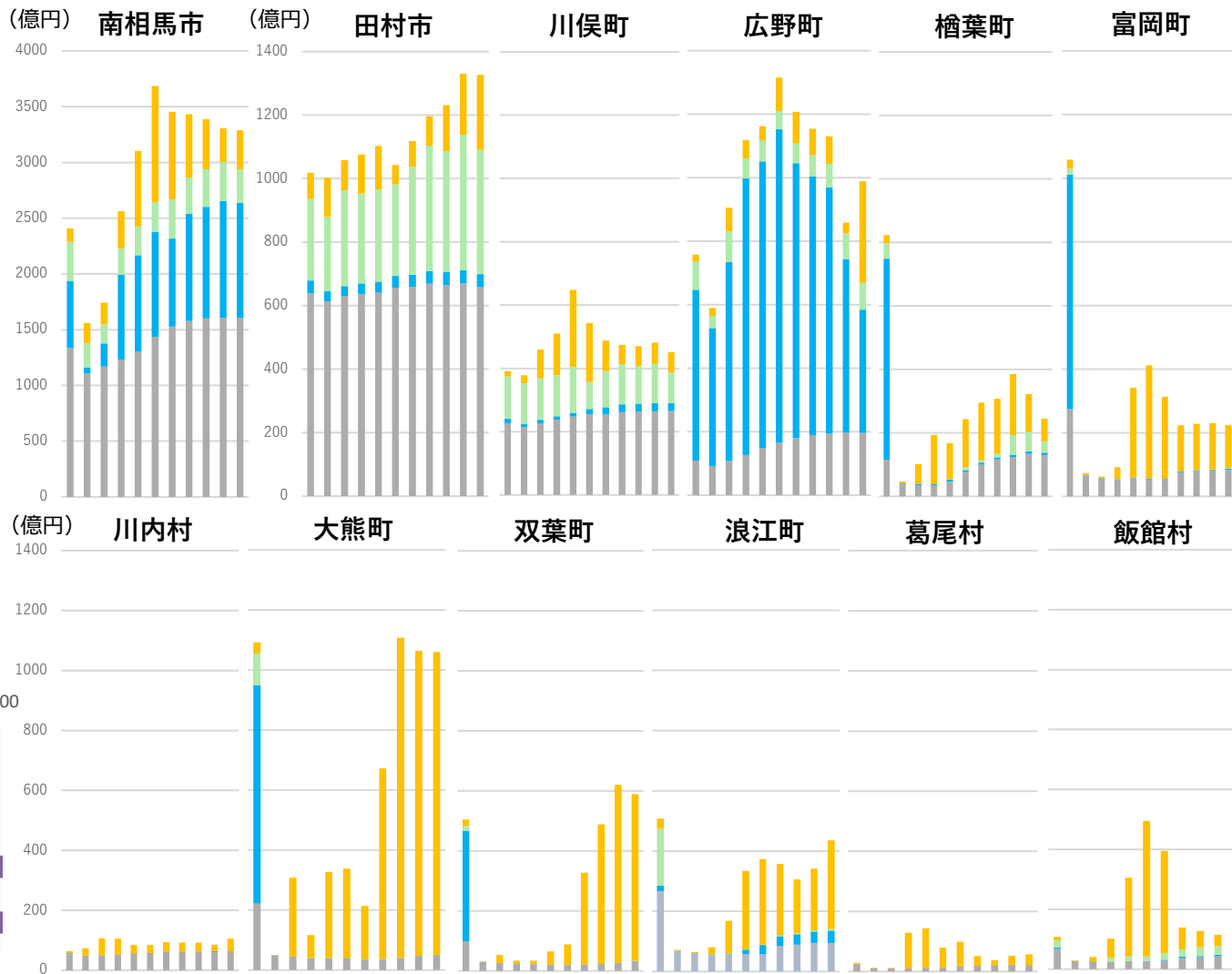
# 被災15市町村の復興ステージ

- 特に被災15市町村の総生産を見ると、全体として震災前の水準に戻りつつあるものの、**原発立地町を中心に、未だ震災前にほど遠い地域もあり、自治体毎に復興のステージに違いが見られるようになってきている**。なお、被災12市町村の**帰還再開比率は、3割強**に止まっている。

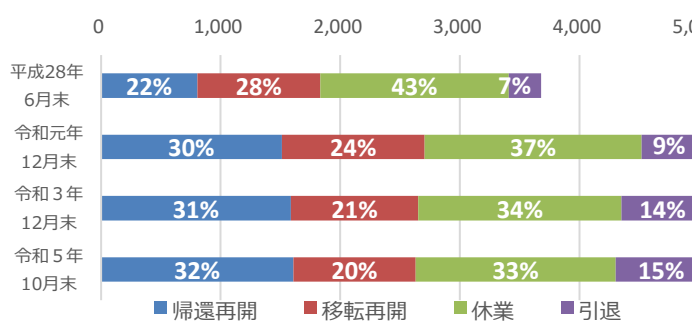
### 総生産の推移（被災15市町村計）



### 被災12市町村別の総生産の推移（2010~20年度）



### 被災12市町村の事業者の再開等の状況



※大熊町・双葉町は数%、富岡町・浪江町は10%程度の帰還再開率となっている。

(注) 棒グラフはそれぞれ左から2010,11,12,13,14,15,16,17,18,19,20年度

# 福島浜通り地域等の産業復興に向けた取組

- 浜通り地域等の産業復興に向けては、①「事業・なりわいの再建」、②「新産業の創出」の両輪を軸に、③「交流人口の拡大」を効果的に結びつけ、相乗効果を図り、復興に取り組んできた。

## ①事業・なりわいの再建

・官民合同チームが、これまで約5,800事業者と、約2,600農業者を個別訪問。

・被災事業者の多様なニーズを踏まえた個別支援を通じて、事業再開や経営改善、販路開拓を後押し。

- ✓ コンサルティング支援（約1,600者）
- ✓ 販路開拓支援（約250者）
- ✓ 人材確保支援（約1,000者、約4,100人採用）

※令和5年9月末時点

約2,700の事業者が事業再開を実現。

## ②新産業の創出

・実証フィールドの整備・拡充や、スタートアップの実用化開発の重点支援、企業誘致支援等を実施。

- ・77社のロボット関連企業が進出。 ※令和5年9月末時点
- ・ロボットテストフィールドを活用した実証832事例 ※令和5年9月末時点
- ・424件の企業立地と4,796人の雇用創出を実現。

※令和5年9月末時点

## 相乗効果の創出

## ③交流人口の拡大

- ・「交流人口拡大アクションプラン」に基づいた、浜通りのブランディング。
- ✓ 広域連携によるコンテンツの作成（「酒・グルメ」、「サイクル」等）
- ✓ 誘客コンテンツの開発への支援（累計12件採択）
- ✓ 情報発信の強化（地域の伝統・魅力等発信支援事業 累計120件採択） 等

# ①事業・なりわいの再建の成果

- 「福島相双復興官民合同チーム(平成27年8月創設)」は、**これまで約5,800事業者と約2,600農業者を個別に訪問**。 ※令和5年9月末時点
- 多様なニーズを踏まえて、**事業再開、人材確保、販路開拓等の個別支援、12市町村での創業やまちづくりの支援を実施**。

## ○ 事業再開向け設備投資等の支援

中小・小規模事業者の事業再開等支援事業（基金）

事業者の事業再開等に要する設備投資等を支援  
(補助率：最大4/5、補助対象上限額：最大4,000万円)

**1,291件**を採択  
(2015～2023年9月)

## ○ 人材確保支援

人材確保支援事業

12市町村内の企業に対して域内外からの採用を支援

**約1,000者**を支援  
**約4,100人**採用  
(2016～2023年9月末)

## ○ 販路開拓・新事業創出支援

販路開拓・事業者間マッチング支援

販路開拓や新ビジネス創出に向けて、事業者の抱える課題等を把握し、課題に応じた専門家の派遣や事業者間マッチング等を実施

**約250者**を支援  
**約1,200件**の販路マッチング成約  
(2016～2023年9月末)

## ○ 個別コンサル、市町村向けまちづくり支援

官民合同チーム専門家支援事業（基金）

事業再開・展開、承継・転業、生活再建等の課題について、コンサルタント、中小企業診断士等の専門家による、訪問・相談を実施

**約1,600者**へのコンサル支援  
**12市町村**へのまちづくり支援  
(2015～2023年9月末)

## ○ 震災後の創業支援

創業促進・企業誘致に向けた設備投資等支援事業

12市町村内での創業や域外からの事業展開等に要する設備投資等を支援  
(補助率：最大3/4、補助対象上限額：最大3000万円)

**150件**を採択  
(2016～2023年10月)

## ②新産業の創出の成果（イノベ実用化補助金）

◇ 本事業は、本格的な事業開始前にあるスタートアップ企業等の呼び込みや新たな産業創出に向けた取組を支援する上では欠かせない事業となっており、これまで累計244件（平成28年～令和5年）の案件を採択し、そのうち92件が事業化を達成。

### <進出企業の実例>

#### 事例1：インターステラテクノロジズ（株）【航空宇宙】（南相馬市）

○事業内容：小型・低価格で高頻度に打上げ可能なロケットを実用化を目指し、近年急速に需要が高まっている小型衛星打上用ロケットに欠かせないロケット搭載用の要素技術の開発を行い、ロケットの主構造・制御コンピューターなどの重要部品の開発を実施中。



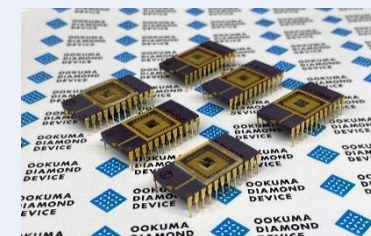
#### 事例2：日産自動車（株）【ロボット・ドローン】（浪江町）

○事業内容：人口低密度地域でも持続可能なモビリティサービスを提供するため、運用効率に優れた運行システムの開発、実証実験によるシステム、受容性、事業性の検証等を実施中。浪江町全域を実証フィールドとし、人口減少地域における課題解決に資する取組も実施中



#### 事例3：大熊ダイヤモンドデバイス（株）【廃炉】（大熊町）

○事業内容：原子炉過酷事故や廃炉作業のような高温環境下・放射線環境下で動作が可能な、ダイヤモンド半導体デバイスの開発を実施中。



#### 事例4：ベルグ福島（株）【農林水産業】（川俣町）

○事業内容：国内野菜産地において防除が困難とされる病原ウイルス・菌に対する植物ワクチンの開発及びその接種苗の実用化、並びに大量生産システムの開発を実施中。



## ②新産業の創出の成果（立地補助金）

◇ 避難指示解除地域では、産業用地を中心に**自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金**を活用して**新たな企業の立地も進んでいる**。浜通り地域等における**累計企業立地件数は424件、雇用創出数4,796人**（令和5年9月末時点・採択時の計画ベース）

### <進出企業の具体例>

#### 事例1：ロボコム・アンド・エフエイコム（株）（南相馬市） 令和3年7月操業開始

- 本社：東京都港区
- 事業内容：ロボットパッケージ製造・販売、及び大型精密部品加工事業、3Dプリンター事業等を行い、最新技術を駆使したロボットパッケージ展示場を併設

#### 事例2：（株）片山製作所（富岡町） 令和4年1月操業開始

- 本社：岐阜県可児市
- 事業内容：パワー半導体モジュール用の放熱基板を製造するため、富岡産業団地内の土地を賃借し、工場を新設

#### 事例3：豊通リチウム（株）（楡葉町） 令和4年10月操業開始

- 本社：双葉郡楡葉町
- 事業内容：需要が伸びている車載二次電池用炭酸リチウムの供給だけでなく、リチウム電池の技術革新に伴い二次電池の高容量化も見込まれることから、原料となる水酸化リチウムの生産・供給体制を構築

#### 事例4：（株）アルメディオ（双葉町） 令和5年2月操業開始

- 本社：東京都国立市
- 事業内容：カーボンナノファイバー等を製造するナノマテリアル事業の拠点として、中野地区復興産業拠点に福島双葉工場を新設



# ③交流人口の拡大の成果

- 「交流人口拡大アクションプラン」に基づき、**6つのテーマ毎に国・県・15市町村、地域事業者を交えながらワーキンググループやワークショップを開催し、取組の具体化を進めている。**
- 「**スポーツ・サイクル**」においては、福島復興を**国内外に広く発信できるコンテンツ**として引き続き取組を進め、特に**ナショナルサイクルルート（NCR）**については、推進協議会と連携して早期指定を目指していく。

## (1) 6つのテーマに基づくWG・WSの実施

- ・ 6月に「**酒・グルメ**」「**サイクル**」分野において、WSを開催し、アウトドアを軸にした「**この地ならではの**」の**広域コンテンツ**を創出するべく検討を進めた。
- ・ さらに、「**山・自然**」「**海・自然**」「**歴史・文化**」「**芸術**」の分野で6月に第1回目のWGを、**8月には地域事業者を交えたWSを初開催。**



▲ワークショップの様子（6月1日）

## (2) 「スポーツ（サイクル）」の取組

- ・ 7月に官民一体の「**ふくしま浜通りサイクルルート推進協議会**」（事務局：福島県）を発足。**ナショナルサイクルルートの早期指定を目指す。**
- ・ 浜通りを中心に、**サイクルロードレース**を多数開催。本年9月には、**国内最大規模となる、15市町村縦断・総延長211kmの「ツール・ド・ふくしま」**を企画。※当日悪天候により中止

大会スケジュール	
4月	ツール・ド・ふたば（大熊町、双葉町）
4月	ツール・ド・かつらお（葛尾村）
6月	そうまエンデュуро（相馬市）
7月	磐梯吾妻スカイライン・ヒルクライム（福島市）
7月	あぶくま洞ヒルクライム（田村市）
9月	ツール・ド・ふくしま（浜通り等15市町村）※中止
9月	裏磐梯スカイパレーヒルクライム（北塩原村）
10月	ツール・ド・かわうち（川内村）
11月	小野こまちロードレース（小野町）
11月	ジロ・デ・シラカワ（白河市）



▲ツール・ド・ふたば

## (3) 地域の魅力等の発信

- ・ 交流人口の拡大を目的に地域の魅力等を発信する取組として、国内外のトッププロサーファーによる競技や、音楽ライブ等の同時開催により**参加者や観客が一体となって楽しめるサーフィンイベント**を本年9月に開催。



▲多様な波がブレイクする北泉海岸

# 課題と今後の方向性

## 課題

- 自治体毎の復興ステージの違い、復興の更なる加速化
- 浜通り地域全体での効果的・効率的なイノベーション、まちづくり
- 第2期復興・創生期間後に向けた戦略的な予算確保

## ① 自立的・持続的な産業発展

### i. 地域の状況に応じた復興支援の実施

- ・復興状況に応じた効果的な取組
- ・地域の実情に応じたきめ細やかな対応

### ii. 民間投資の呼び込み

- 復興の更なる加速化に向けた、
- ・VC連携など、資金調達手段の多様化
- ・実証環境の優位性の確立・競争力の向上をはじめとした民間投資を誘引できる環境整備 等

### iii. 地域の魅力向上に向けた 広域連携の推進

- ・イノベーション創出、まちづくりに向け、地域の魅力向上につながる広域連携の推進

## 交流人口拡大との相互的な連携

- ・ i ~ iii の土台となる「人の賑わい」、「コンテンツ」等の作成

## 今後の方向性

- 今後は、自立的・持続的な産業発展に向けて、「地域の状況に応じた復興支援の実施」、「民間投資の呼び込み」や「広域連携の推進」といった課題の解決を目指しつつ、「日本全体に波及する先進事例」の創出により、浜通り地域をイノベーション創出の地とする。

## ② 日本全体に波及する 先進事例の創出

- 浜通り地域等の課題解決はもとより、各施策の中で全国大の課題解決に資する先進事例の創出を目指す。

